

第53回通常総会

と き： 令和2年5月27日

と ころ： 福岡県木材協同組合連合会事務所

福岡県木材協同組合連合会

第 5 3 回 通 常 総 会 議 事

期 日 令和 2 年 5 月 2 7 日 (水)

場 所 福岡県木材協同組合事務所

議 事

第 1 号議案 令和元年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書・収支決算書及び剰余金処分案について

第 2 号議案 令和 2 年度事業計画案及び収支予算案について

第 3 号議案 取引金融機関決定について
福岡銀行本店及び博多支店

第 4 号議案 役員補選について

第1号議案

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

近年、自然災害が頻発する中、昨年度も相次いで台風が襲来し、全国的に暴風、大雨の被害が発生しました。さらに、年が明けてからは、中国に端を発した新型コロナウイルスの感染が瞬く間に世界中に拡散し、我が国においても危機的状況に追い込まれております。

一日も早く被災地が復興し、また、感染症が終息することを願います。

さて、我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続いているところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、国民の活動に様々な自粛が要請され、東京オリンピック・パラリンピックの開催も延期されるなど、経済に大きな打撃を与え、リーマンショック以来の不況に陥ることが危惧されています。

また、木材業界にとっても 国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」におけるSDGs（持続可能な開発目標）が、経済、社会の大きな共通目標となり、国産材の利用に追い風が吹いておりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、消費者マインドの落ち込みによる住宅需要の減少、住宅建築現場での資材難による工期延長や着工の遅れなどから、製材等の木材の生産活動や製品流通の長期的な停滞が懸念されております。

令和元年度の当連合会の活動は、上記のような厳しい事業環境ではありましたが、福岡県木材組合連合会や全国木材組合連合会等の中央団体と連携を図り、次の事項を中心に事業を展開しました。

I 主要事業の概要

(1) 木材の利用推進と安定供給

木材、とりわけ県産材やJAS材の利用促進を図るため、福岡県木材組合連合会と連携してフォーラムや見学会を開催した。

また、県産間伐材を使用した椅子や本立て等の木工キットを県木連のホームページで紹介し、好評のもと県内を始め県外からも広く注文があり、約5,300セットを販売し木材利用の普及PRに努めた。

公共建築物に関しては、ガイドラインの作成に向けた木造・木質化のあり方について、関係機関と協議を行った。

(2) 金融対策事業

(ア) 木材産業等高度化推進資金制度の活用

木材の生産や加工・流通を行う事業者が、経営の合理化や事業規模の拡大などを行う際に利用できる資金で、木材関係では、協同組合等で2、単独で7の事業体が、総額3億4千万円余の融資を受け、事業資金として有効に活用された。

(イ) 農林漁業信用基金制度の活用

林業・木材産業関係者が融資機関から事業資金を借り入れようとする場合、(独)農林漁業信用基金が債務を保証することによって、円滑な借入を支援する制度で、信用保証制度の内容や保証対象となる資金の種類、各資金毎の保証内容等について、そのPRに努めた。

(ウ) 林業・木材産業改善資金の活用

新たな事業部門の開始や、必要な機械施設を導入する際に活用できる無利子の資金である林業・木材産業改善資金の概要や貸付対象、借入方法等について周知した。

(エ) 木材供給高度化設備リース促進事業の有効活用

製材業等の近代化を推進するため、リース事業に積極的に活用されるよう周知を行った。

(オ) 共済事業の推進

木材産業の経営及び雇用の安定を図るため、全国木材協同組合連合会が行う大型共済、中型共済、退職金共済など各種制度の普及に努めた。

(3) 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業にかかる安全監督・指導の実施

新たに林業に携わる若者等の育成を支援するフォレストワーカー研修の実地研修を行う林業事業体に対し、全森連からの委託により安全指導及び研修生の安全作業の習得状況の確認等を行った。

又、関係団体と連携を図り、事業体の安全診断を行った。

(1) 実施期間 平成31年4月～令和2年3月

(2) 事業内容

ア 安全監督・指導員の委嘱

指導員 14名

イ 安全監督・指導の実施

- ・ 実施事業体 福岡県浮羽森林組合ほか21事業体
- ・ フォレストワーカー 46名
- ・ フォレストワーカーに対する巡回指導 60日

ウ 安全診断の実施

- ・ 受講事業体 1団体

(3) 事業費 2,295,571円

(4) 労働安全衛生対策の推進

現場における労働災害の防止に向け、労働基準監督署等の関係行政機関と連携し、県内各地で安全パトロールやリスクアセスメントの集団指導会を行った。

(5) 提言要望活動等

木材産業の活性化と木材利用の促進を図るため、関係機関に対し要請活動を行った。

また、国の木材関連予算の確保や施策の拡充等については全木連、全木協連と連携して要望活動を行った。

財 産 目 録

令和 2 年 3 月 3 1 日

単位：円

科 目	摘 要	金 額
(資産の部)		
<u>流動資産</u>		<u>10,401,656</u>
現金		22,936
普通預金	福岡銀行博多支店口座	6,027,326
"	" " 退職金共済口座	1,371,163
未収金		2,980,231
<u>固定資産</u>		<u>4,215,420</u>
電話加入権	電話二基 262-0651, 0652	25,420
出資金	全木協連出資金	3,000,000
"	商工組合中央金庫	20,000
敷金	(株) チクモク	1,170,000
(資産合計)		<u>14,617,076</u>
(負債の部)		
<u>流動負債</u>		<u>2,795,070</u>
預り金	所得税他	28,250
納税引当金		71,000
未払金		2,695,820
(負債合計)		<u>2,795,070</u>
差引正味残高		11,822,006

貸借対照表

令和2年3月31日

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	<u>10,401,656</u>	流動負債	<u>2,795,070</u>
現金	22,936	預り金	28,250
銀行預金	6,027,326	未払金	2,695,820
銀行預金(退)	1,371,163	納税引当金	71,000
未収金	2,980,231		
固定資産	<u>4,215,420</u>	純資産	<u>11,822,006</u>
電話加入権	25,420	出資金	2,675,000
出資金	3,020,000	法定準備金	3,378,680
敷金	1,170,000	特別積立金	1,900,000
		未処分利益	3,868,326
		(うち当期利益金)	-1575
合 計	14,617,076	合 計	14,617,076

損益計算書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

科目	小計	合計
I 事業総損益		
1 事業総収入	9,057,649	
2 事業総費用	3,891,296	
事業総利益		5,166,353
II 一般管理費		
1 事務所費	143,256	
2 人件費	4,710,882	
3 需用費	0	
4 旅費交通費	0	
5 交際費	0	
6 広告宣伝費	0	
7 会議費	0	
8 雑費	131,494	
事業管理費計		4,985,632
事業利益		180,721
III 事業外損益		
1 事業外収益	198,304	
2 事業外費用	309,600	
事業外損益		△ 111,296
税引前当期純利益		69,425
法人税等充当金	0	△ 71,000
当期利益金	0	△ 1,575
前期繰越剰余金		3,869,901
当期末処分利益金		3,868,326

令和元年度 収支決算書

平成31年 4月 1日 から
令和 2年 3月31日 まで

収入の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	元年度決算額	増 減	備 考
1事業収入	6,713,000	9,057,649	2,344,649	
(1)事務受託	3,100,000	3,850,000	750,000	
(2)全木連共済手数料	20,000	21,758	1,758	
(3)林改資金取扱手数料	0	0	0	
(4)木工キッド等販売事業	1,000,000	2,833,808	1,833,808	
(5)高度化促進事務費	10,000	0	△ 10,000	
(6)緑の雇用対策事業	2,583,000	2,352,083	△ 230,917	
2事業外収入	164,000	198,304	34,304	
(1)受取利息	1,000	64	△ 936	
(2)雑収入	163,000	198,240	35,240	
合 計	6,877,000	9,255,953	2,378,953	

支出の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	元年度決算額	増 減	備 考
1事業費	2,794,000	3,891,296	1,097,296	
(1)木工キッド等購入費	911,000	2,424,464	1,513,464	
(2)緑の雇用対策事業	1,883,000	1,466,832	△ 416,168	
2一般管理費	3,697,000	4,985,632	1,288,632	
(1)事務所費	180,000	143,256	△ 36,744	
・借損料	160,000	129,600	△ 30,400	1ヶ月分
・光熱水費	20,000	13,656	△ 6,344	"
(2)人件費	3,367,000	4,710,882	1,343,882	
・職員給与	2,568,000	3,926,100	1,358,100	
・福利厚生	500,000	486,182	△ 13,818	
・雑給	166,000	165,600	△ 400	
・退職積立	133,000	133,000	0	

科 目	元年度予算額	元年度決算額	増 減	備 考
(3)需要費	0	0	0	
・印刷費	0	0	0	
・事務用品費	0	0	0	
・通信費	0	0	0	
・新聞図書費	0	0	0	
(4)旅費交通費	0	0	0	
(5)交際費	0	0	0	
(6)広告宣伝費	0	0	0	
(7)会議費	0	0	0	
・総会費	0	0	0	
・理事会費	0	0	0	
・会合費	0	0	0	
(8)雑費	150,000	131,494	△ 18,506	
3 事業外費用	310,000	309,600	△ 400	
(1)租税公課	0	0	0	
(2)関係団体負担金	310,000	309,600	△ 400	
(3)林改資金再委託料	0	0	0	
4 法人税等引当金	71,000	71,000	0	
5 予備費	5,000	0	△ 5,000	
6 当期剰余金	0	-1575	△ 1,575	
合 計	6,877,000	9,255,953	2,378,953	

上記の通り報告します。

令和2年5月1日

福岡県木材協同組合連
会 長 平川 辰男



上記につき監査したところ正確であることを認めます。

令和2年5月1日

監 事 鈴木 就生



監 事 多田 啓



剩 余 金 処 分 案

円

1. 当期未処分利益	<u>3, 868, 326</u>
繰越利益金	3, 869, 901
当期利益金	△1, 575
2. 利益処分額	<u>100, 000</u>
法定利益準備金	50, 000
特別積立金	50, 000
3. 次期繰越金	<u>3, 768, 326</u>

第2号議案

令和2年度 事業計画（案）

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

我が国の経済は、雇用・所得環境等の改善が続く中で、緩やかな回復が続いていましたが、昨年の消費税引き上げにより、個人消費が停滞するなど必ずしも大幅な景気回復の期待が持てる状況にはありませんでした。

さらに、中国で発生した新型コロナウイルス感染症に関しては、世界中で爆発的な拡大が続いており、我が国では緊急事態宣言が出され、その対象区域が全国に広がるなど未だに終息の見込みがつかれておりません。

この影響を受け、人やモノの流れが急速に縮小し、加えて2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により期待されていた需要が先送りされ、消費意欲が減退するなど経済へ大きな打撃を与えています。

令和元年の新設着工戸数については、全体では貸家需要の停滞もあり、昨年から微減の905千戸、うち木造住宅は523千戸となり、木造率は、58%とここ10年間以上50%台の実績が続いており、今後の動向には難しいものがあると考えられます。

また、「成長戦略2019」が令和元年6月に閣議決定されました。成長戦略フォローアップの中においては、林業改革として、ICTを活用し、生産管理の取組や、需給等のデータを共有するサプライチェーン構築の加速化を図るなどの「スマート林業の推進」、オフィスなどの非住宅建築物への木材利用拡大に経済界の協力も取り入れつつ、都市部を中心に取り組むなどの「木材利用の推進」が

位置づけられています。

こうした背景から、非住宅、特に都市での木材需要拡大に伴う需要構造の変化に柔軟に対応できる体制の確立が緊急の課題となっています。

今後、このような課題に対応していくためには、木材利用が環境に貢献することや地域経済活性化の重要なファクターであることの理解を広めるとともに耐火性能の向上等技術的な課題を克服し、「木材を優先する（ウッドファースト）街づくり」へと流れをつくっていくことが必要となります。

そして、このような環境の中で、中高層建築、外構などを対象とした建築部材の利用を推進する令和元年度度補正予算・令和2年度予算、森林環境譲与税等が効果的に機能し、木材産業の活性化を図ることが期待されています。

木材業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け一層厳しい経済情勢下にあります。当連合会としましては、関係機関・団体と協力して、新たな木材需要の創出や需要者ニーズに対応した国産材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組むとともに、福岡県木材組合連合会と連携して、次の事項を中心に事業を展開して参ります。

（１）木材の利用推進と安定供給

木材、とりわけ県産材の利用促進に向けた普及PRに努め、関係機関、関係団体と密接に連携して、公共建築物への木造化・木質化の推進を行うとともに、木材の安定供給に取り組む。

（２）金融対策事業

（ア）木材産業等高度化推進資金制度の有効活用

木材の生産や加工・流通を行う事業者が行う、経営の合

理化や事業規模の拡大などが円滑に推進されるよう、資金制度の効率的な活用を推進する。

(イ) 農林漁業信用基金制度の活用

林業・木材産業関係者の円滑な資金調達を図るため、信用基金制度のPRに努めながら効率的な活用を推進する。

(ウ) 林業・木材産業改善資金の活用

新たな事業の開始や、必要な機械施設の導入に活用できる同資金の周知に努める。

(エ) 木材供給高度化設備リース促進事業の有効活用

製材業等の近代化を推進するため、リース事業の積極的な活用を推進する。

(オ) 共済事業の推進

木材産業の経営及び雇用の安定を図るため、全国木材協同組合連合会が行う大型共済や退職金共済など各種制度の普及PRに努める。

(3) 「緑の雇用」対策事業による安全監督・指導

林業事業体に対して安全指導を実施する。

(4) 労働安全衛生対策の推進

林災防福岡県支部と連携して、労働災害防止対策、木材製造業のゼロ災・労働安全の確保に取り組む。

(5) 提言要望活動

木材産業の活性化と木材利用の促進をさらに推し進めるため、福岡県木材産業政治連盟や全国木材産業政治連盟、全国木材組合連合会等と連携して要望活動を行う。

(6) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響への対策

セーフティネットの保証制度、雇用調整助成金、農林漁業信用基金制度などを活用し、資金手当の確保ができるよう情報収集・提供等の支援を行うとともに、本対策に必要な事項に関しても関係機関に要望を行う。

令和2年度収支予算書(案)

令和 2年 4月 1日 から
令和 3年 3月31日 まで

収入の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	2年度予算額	備 考
1 事業収入	<u>6,713,000</u>	<u>6,530,000</u>	
(1)事務受託	3,100,000	3,100,000	
(2)全木連共済手数料	20,000	20,000	
(3)林改資金取扱手数料	0	0	
(4)木工キッド等販売事業	1,000,000	1,100,000	
(5)高度化促進事業費	10,000	10,000	
(6)緑の雇用対策事業	2,583,000	2,300,000	
2 事業外収入	<u>164,000</u>	<u>164,000</u>	
(1)受取利息	1,000	1,000	
(2)雑収入	163,000	163,000	
合 計	<u>6,877,000</u>	<u>6,694,000</u>	

支出の部

(単位:円)

科 目	元年度予算額	2年度予算額	備 考
1 事業費	<u>2,794,000</u>	<u>2,500,000</u>	
(1)木工キッド等購入費	911,000	1,000,000	
(2)緑の雇用対策事業	1,883,000	1,500,000	
2 一般管理費	<u>3,697,000</u>	<u>3,808,000</u>	
(1)事務所費	180,000	150,000	
・借損料	160,000	130,000	
・光熱水費	20,000	20,000	
(2)人件費	3,367,000	3,508,000	
・職員給与	2,568,000	2,568,000	
・福利厚生	500,000	500,000	
・雑給	166,000	307,000	
・退職積立	133,000	133,000	

科 目	30年度予算額	元年度予算額	備 考
(3)需要費	0	0	
・印刷費	0	0	
・事務用品費	0	0	
・通信費	0	0	
・新聞図書費	0	0	
(4)旅費交通費	0	0	
(5)交際費	0	0	
(6)広告宣伝費	0	0	
(7)会議費	0	0	
・総会費	0	0	
・理事会費	0	0	
・会合費	0	0	
(8)雑費	150,000	150,000	
3 事業外費用	310,000	310,000	
(1)租税公課	0	0	
(2)関係団体負担金	310,000	310,000	
(3)林改資金再委託料	0	0	
4 法人税等引当金	71,000	71,000	
5 予備費	5,000	5,000	
6 当期剰余金	0	0	
合 計	6,877,000	6,694,000	

第 3 号議案 取引金融機関決定の件

福岡銀行本店及び博多支店

第 4 号議案 役員補選について